

平成28年11月14(月) 第4回「牧之原市のくらしとエネルギーを考える」意見交換会
 「今後さらに深く理解していくためには“私たちは”具体的に何ができるのか」各グループの意見

メンバー		意見
1G	エネルギーの知識	エネルギーの勉強について3回目の下書き配布を市民に配布し、一人ひとりがエネルギーに関心を持たせる エネルギーのメリット・デメリットの講演 4回/年の計画をする 中電は原発を含めたエネルギー全般について、情報発信を強化する いろいろな世代と中電がエネルギーについてディスカッションする。(例えば高校生、20代・・) 今後、人口・産業によってどうなるか 良い悪い両方の情報を得る 具体的な指示説明必要 ヨウ素の配布にとりあえずもらっただけだったので副作用以外の知識がない 放射能ヨウ素の放出
	今、できる行動	今、確実に出来ることは節電すること 中電は再生エネルギーの開発を進める 今の段階で原発の中止は無理だと思う。使いながら次の有効な手立てを考える 節電、CO2削減・・自分が出来ることはやらないといけない 自分の意見をもつ
	国へ	国同士の関係を常に良くしないとエネルギーの輸入が困る 日本は資源がない
	浜岡原発へ	国・中電要望について。市民は安心・安全なくらしを望んでいます。事故の再発なき様にして欲しい 中電は原発の安全について絶えず追求する 中電は原発の情報を早く・正確に発信する 事故でない時も見える化 人の訓練は大丈夫か？ 維持管理十分やってほしい！！ 新入社員はいるか？⇒いる。 設備は整っていても人がいなければ・・
2G	安全第一	安定供給のために、火力・原子力の安全を高めて電力の供給を行う 安全な原子力発電所とするために今後も継続して安全対策を行う
	責任	自助・協助・公助の分担をはっきりと 中電さんだけではなく、国も協力してもらって！！(国がススメているのだから)

メンバー		意見
2G	もっと知るために！ 知らせたい もっと知りたい	<p>内容が分かりやすいよう工夫して欲しい（管内の模型など持ち出して使って）</p> <p>個人的に知りたい事をもっと気軽に勉強する場所をほしい</p> <p>専門家の講演会を聞きたい。どんな人がいるのか知りたい。リストをあげてほしい。</p> <p>講演などは地元の方へイベントを合わせた内容にして欲しい</p> <p>勉強する機会としてこうした意見交換会をこの先も続けていく</p> <p>勉強する機会として原発の中を見学していただく機会を増やす</p> <p>発電所見学会(バスツアーなど)実施して欲しい ※意見が変わってくると思う</p> <p>知る権利・知らせる権利をどう確立するか</p> <p>解らないでは何も始まらない</p> <p>原子力館に市民を呼ぶだけではなく、市民の集まる場所に来て欲しい</p> <p>勉強する機会として原子力館のご案内を広く行う</p> <p>正しい情報をお伝えするために対話の窓口を多様化していく</p>
3G	安全≠安心	<p>安全が安心につながるか・・・？</p> <p>安心を得るために学ぶこと。お金ではない。</p> <p>細かなトラブルは安心へつながらない</p> <p>避難の仕方、ヨウ素剤など安心につなげたい</p>
		正しい情報を流さなかった事に対する罰則規定を法整備する。
	パネルディスカッション	<p>パネルディスカッションを逆に（中部が反対の立場で）</p> <p>立場が変わると問題が分かりやすいのでは</p>
	無くなった影響	<p>電気がなくなった時の自分の生活を考える</p> <p>何かを無くしたら自分の身に何がおきるのかを考える</p>
	次世代	<p>若い人の意見を聞きたい 柔軟な考えが出そう</p> <p>若い世代の人たちを含めて勉強会をしたら良い 月1回</p> <p>若い母親の意見を聞きたい</p> <p>次世代 日本という国を守っていく為にもこの問題は続くと思う</p> <p>参加が負担にならない勉強会が必要</p>
現地見学 福島	<p>原発の見学を一度経験したい</p> <p>食わず嫌いはやめ、現場、現物で自分で考える。原発・火力発・・・視察に積極的になる</p> <p>命あつてのくらし。一番大切なものが何かわかりました。</p> <p>福島で原発5km～10km圏内を見学したい</p> <p>一度は福島県が区会（避難者の声を聞く）</p> <p>(現場) 視察の機会が必要</p>	

メンバー		意見
3G	<p>図上避難訓練</p>	<p>避難訓練(図上で) 津波のように ヨウ素剤を使うときは？ 事故などが起こったときを考えて計算したとき、原発は高いか安いかわかるか 事故が起きたときの動きを知る 「ヨウ素剤をいつ飲むか？」</p>
	<p>中電にできること</p>	<p>私は電気部門の仕事を多くやってきましたので・・ ①電気の成り立ちを話します ②現在の発電方法について話します ③発電・変電・送電について話します ④交流・直流について話します ⑤原発の放射線管理について話します ⑥ウランエネルギーの利用メリットについて話します ⑦電気の節約方法を勉強して伝えたい 中で働く人の意見を聞いてみたい 知る 電力使用量のおしらせに今月どのような方法でどのぐらいの電気がつくられたかのせる ⇒見ることで知れる 電気の流れ</p>
	<p>節約・省エネ</p>	<p>まずは自分にできる節約から始める。電気のつけっぱなし等注意 限られた資源の中で上手に取り組んでいる地域があるのでは ゴミを23種にわけて財政をもちなおした町がある。見習ってはどうか</p>
	<p>勉強会</p>	<p>⑧原発以外の良い発電方法を勉強します 地域にもどって部落ごとのこういう話し合いの場が必要なのではと思います 原発は安い？高い？経済の立場で両意見を！ 脱原発がはたして良いのか？今でも疑問に残った会でした</p>
	4G	<p>会を作る</p>
		<p>選べるだけの知識は必要</p>
		<p>資源が少ないという前提を考え直すところからエネルギーを作る</p>
		<p>原発廃止・継続など、我々に残されている選択は選挙でそれぞれ意見を持つ人を選ぶしかない。</p>
		<p>科学情報の理解のための中立的な場が必要。市民のための科学者のしくみ</p>
		<p>自分の地元のことは考えがたいと他人の地域でおこる事故に興味と理解ができない。まずは地元におとして考える。</p>
		<p>いろいろな考え方の人が舞台にあがるディスカッション・ディベート・シンポジウムを企画する 庶民にできることって限られている⇒「具体的に」がむずかしい</p>

メンバー		意見
4G	恵まれた環境	判断の軸をもつ その場だけで終わらないように 日本はスゴイ国なのだからリーダーシップをとっていこう ヨーロッパの難民問題、シリアの戦争など世界では日々の暮らしが大変なのに、我々はこのようなワークショップを開きエネルギーを考える余裕があるだけ幸せな環境だ 恵まれた環境であるといち自覚 日本人は気付いていない！！ 先進国の一人の人間としてCO2の排出についても考える立場 CO2のダメージをもっと知りたい
	勉強	むしろ見たいところを見せてもらえるとうれしい エネルギーを学び自分の家のエネルギーを考え、地域・地区のエネルギーとして使えるもの、ことを出す。 発電所で働く社員が出向いて対話する 発電所の見学で質問の時間を長くとり 原発の視察を大勢の人に行ってもらいたい（勉強） 韓国の方が放射線高い？ いろんな疑問を集めてそれにお応えしますという広報紙をつくる 「福島は今」ってどうなの？検査の結果は？⇒受ける人が増えると増える？ 対話に出向く機会を増やす。一緒にエネルギーについて考えてみませんか？ 牧之原市民が世代別に学校・地域でエネルギーについて勉強、知ること、私達ができる事、話し合う機会を持って、もっと身近にエネルギーを考えるべき 福島の小児科の先生に来てもらって話してもらおう 学校の先生方と一緒に学ぶ機会をつくる 福島で子どもたちと一緒に放射線教育をおこなっている先生に来てもらって話をしてもらおう機会をつくる 子どもの教育、学校で学ぶ 意見を言えること大事！！
5G	丁寧に聞く	浜岡原発について〇、×だけでなく市民の声を丁寧に聴くことが大事 様々な意見・声を取り入れる！！
	科学者	科学者など頭の良い人たちの考えを！！（上の人たちを集めて）エネルギーについて 貯電技術の研究を(開発)国で進めて欲しい エネルギーは国策
	若い人の育成	発電所を使った最先端の放射線教室 若い人への出前教室（電気・放射線・エネルギー） 家族で1日の電気料の目安を決めて努力することをみんなで考えることができたらと思います。

メンバー		意見
5G	若い人の育成	原子力の不安＝放射線の不安＝放射線に関する勉強会 小・中・高、電気のできるまでを継続して電気のありがたみを考える話をしてほしいです。 話が堅すぎる！！（記入しなければ、発表しなければ・・・） 若い人が理解して、今後活かせるように！！（あまり勉強しすぎて・・・） 家族で、学校で、若い人達と“考える”必要！！ 学校の子どもに分かる話を！
	機会	意見を聞く場には参加したい！話を聞きたい！ 個人で見聞きしたいがなかなか出来ない 機会があれば話を聞きに行きたい！！（現場の声を取り入れたい）
	チェック	原子力は安全が大前提。事業者の安全に対する取り組みを定期的にチェックすることが必要 浜岡の今について、定期的意見交換会・現場見学会の実施 Check & 監視する必要！！ 市民⇒電力会社
	見学会⇒もっとやりやすく	自由に、柔軟に対応して欲しい。見学会などの制限 団体じゃなきやetc・・・ 見学の為の団体を作りたいと思っているが・・・団体作りが大変
	将来のこと	太陽光を建設しているけど、どのくらいの年数もつか？
6G	情報発信	情報は広報にのせる（エネルギーについてだけ） 原子力発電だけでなく、エネルギー全般について情報発信していく
	自ら学ぶ！	知る・勉強する。分からないとき、インターネットを使って調べる インターネット等により理解を深める
	中電の取組み	浜岡原子力発電所の安全性向上にしっかり取り組んでいく
	専門家による勉強会	1、市民からアンケートをとる（原発、現電力(水力・火力) 新エネルギーに対する関心度 2、それぞれの分野の専門家に講演質疑応答（少人数で） 第三者の説明会（中電でなく・・・）
	省エネ	省エネ
	次世代と共に	学校(子供達)への教育
7G	情報の発信	迅速で正確な情報発信 市民の疑問に丁寧にお答えしていく

メンバー		意見
7G	 「見る」	発電所の情報が伝わる活動「見学会」「説明会」「対話」 原発事故でどうなったか現地を見る機会をつくる 具体的？ 正確な情報を伝える為の活動。身近なグループから原発を見る事
	 「聞く」	「勉強会」の実施 防災の日にエネルギー庁の方に市民の前で講演をしていただく(大人・子供 すべての人対象) 国による学習会の実施 講演会・見学・意見交換会⇒セット企画する 対象者が積極的に参加出来るインパクトのあるテーマを探す 海水を利用できないか勉強する会を開催する
	 「話す」(意見交換会)	第2回 牧之原市「意見交換会」 地区単位の意見交換会の実施 世代と別の世代の意見交換をすれば理解は得る ※地域ごと 知るには世代別に地域にて交換会を行う 小・中・高・女性(一般)・シニア 状況を多くの市民に丁寧にお伝えし、安心につなげていく 聞く耳を持たない方たちに対し、どんな手法をとるか？ みんなで案を出し合う
	安全性の追求	安全の確保 安全性向上対策工事をきっちり仕上げる 安心安全100%を担保できるか？を知る 放射能が出ない原発を開発する 安全性を高める取り組みを怠ることはない
8G	疑問がわかるようになる	収集した情報をそしゃくするための手段がほしい 疑問⇒それをどうしたらいいか それがわかるといい
		コミュニケーション 継続的な場 いつでもお話できるように
	見る・聞く・知る	新聞やテレビ等でエネルギー関係の情報をよく読む(聞く) 自分が 現場、物をお見せする 中電 原子力以外のエネルギーについてセミナーを聞いてほしい 市主催
	中電がんばる！	安全の追求 ・能力を高める訓練 ・リスクを減らす取り組み
省エネ工夫	省エネ ムダな電気を使わない 自分	

メンバー		意見
8G	市民・市が 情報正しいかチェック	牧之原市にチェック・調査機関があるといい 情報が正しいかチェック
	↓ しっかりした情報発信	情報の発信（トラブルなど） ・丁寧に ・わかりやすい ・いつでも見れる 気軽に聞ける・伝わる・・・どうするか 情報誌で中電が丁寧な情報を発信 うわさもたくさん出る